

4. 動物

4-2 鳥類 ～大町ダムに来る渡り鳥～

日本で見られる野鳥の多くは季節の変化に応じて移動しています。海を越えて日本に飛来する野鳥を「渡り鳥」と呼び、移動形態に合わせて、夏鳥、冬鳥、旅鳥、迷鳥に分けられます。一報、周年を通して同一地方に住み着いているスズメ、キジ、ハシブトカラス等を「留鳥」と呼びます。

ここでは、北アルプスの山地内にある「湖面」としてとらえることのできる大町ダム周辺に訪れる野鳥の種類や特徴をまとめます。

■ 大町ダムに飛来する鳥たち

大町ダム一帯でみられる野鳥は表 4.1 のとおりで、渡り鳥、留鳥など様々です。平成5年度以後の定期的な調査で、計 14 目 33 科 93 種の鳥類を確認しています。

龍神湖(大町ダム湖)の位置する標高約 900m 内外の山地帯の気象条件のもとに広がる湖面、堤体、森林、草地などを餌場、営巣場所、休息場所等として利用する野鳥が確認されています。

■ 鳥類の飛来と大町ダム周辺の環境との関係

龍神湖周辺に特徴的な鳥類としては、湛水面を休息や就寝の場としているカモ類、斜面林の土崖に営巣し魚を捕食するヤマセミ、ダム堤体など人工物に営巣するイワツバメ等が挙げられます。このような種類の鳥類が毎年訪れる理由として、次の点が考えられます。

① 低山地の環境・気象条件が生育に適する

亜高山帯ほど寒冷ではなく平地よりも涼しい気温と、針葉樹、広葉樹、これらの混交林が存在する環境が、森林を営巣場所にする渡り鳥の生育環境として適していることがあげられます。

② 餌が豊富にある

大町ダム周辺の樹林地や草地では、渡り鳥の餌となる植物の種子や果実が種類も量も豊富で、昆虫類も多数生息しています。餌に事欠かない環境があることも、渡り鳥に好まれる理由といえます。

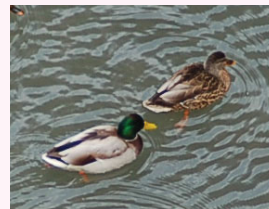
表4.1 大町ダムでこれまで確認された鳥類(1) (出典:26,27)

目名	科名	種名	渡り区分	調査年度			
				H5-6	H8-10	H15	H22
ペリカン	ウ	カワウ	留鳥	●	●	●	●
コウノトリ	サギ	アオサギ	留鳥	●	●	●	●
カモ	カモ	オシドリ	留鳥	●	●	●	●
		マガモ	冬鳥	●	●	●	●
		カルガモ	留鳥	●	●	●	●
		コガモ	冬鳥	●	●	●	●
		トモエガモ	冬鳥	●	●	●	●
		ヒドリガモ	冬鳥	●	●	●	●
		オナガガモ	冬鳥	●	●	●	●
		ハシビロガモ	冬鳥	●	●	●	●
		ホシハジロ	冬鳥	●	●	●	●
		キンクロハジロ	冬鳥	●	●	●	●
タカ	タカ	カワアイサ	冬鳥	●	●	●	●
		ハチクマ	夏鳥	●	●	●	●
		トビ	留鳥	●	●	●	●
		オオワシ	冬鳥	●	●	●	●
		オオタカ	留鳥	●	●	●	●
		ハイタカ	留鳥	●	●	●	●
		ノスリ	留鳥	●	●	●	●
		クマタカ	留鳥	●	●	●	●
		イヌワシ	留鳥	●	●	●	●
		ハヤブサ	留鳥	●	●	●	●
キジ	キジ	ヤマドリ	留鳥	●	●	●	●
		ユリカモメ	冬鳥	●	●	●	●
チドリ	カモメ	ウミネコ	冬鳥	●	●	●	●
		ドバト	留鳥	●	●	●	●
ハト	ハト	キジバト	留鳥	●	●	●	●
		アオバト	留鳥	●	●	●	●
		ジュウイチ	夏鳥	●	●	●	●
カッコウ	カッコウ	カッコウ	夏鳥	●	●	●	●
		ツツドリ	夏鳥	●	●	●	●
		ホトトギス	夏鳥	●	●	●	●
		コノハズク	夏鳥	●	●	●	●
フクロウ	フクロウ	フクロウ	留鳥	●	●	●	●
		ヨタカ	夏鳥	●	●	●	●
		アマツバメ	夏鳥	●	●	●	●
アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	留鳥	●	●	●	●
		ツツク	留鳥	●	●	●	●
フツボウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	●	●	●	●
		アオガラ	留鳥	●	●	●	●
キツツキ	キツツキ	アオガラ	留鳥	●	●	●	●
		オオアオガラ	留鳥	●	●	●	●
		コガラ	留鳥	●	●	●	●
		イワツバメ	夏鳥	●	●	●	●
スズメ	ツバメ	セキレイ	留鳥	●	●	●	●
		キセキレイ	留鳥	●	●	●	●
		ハクセキレイ	留鳥	●	●	●	●
		セグロセキレイ	留鳥	●	●	●	●
		ペンズイ	夏鳥	●	●	●	●
		タヒバリ	冬鳥	●	●	●	●
サンショウクイ	サンショウクイ	ヒヨドリ	留鳥	●	●	●	●
		モズ	留鳥	●	●	●	●
		カワガラス	留鳥	●	●	●	●
		ミソサザイ	留鳥	●	●	●	●
		ミソサザイ	留鳥	●	●	●	●
		ミソサザイ	留鳥	●	●	●	●



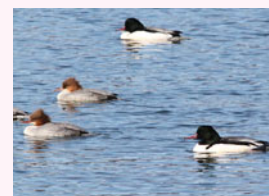
オシドリ (カモ科)

- 主に西日本で越冬し、夏に雌雄が連れだつて繁殖地の北海道、東日本へ旅立つ。
- 植物食傾向の強い雑食。水生植物、昆虫等



マガモ (カモ科)

- 主に冬に飛来し、群れを形成。春には、雌雄が連れだつて繁殖地へ旅立つ。
- 主に水草や種子、貝等を採食。



カワアイサ (カモ科)

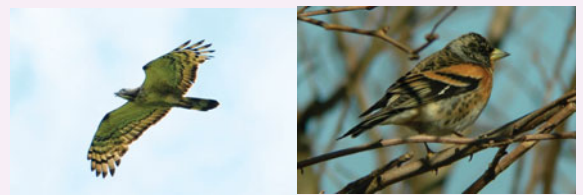
- 冬鳥として 10 月頃に渡来し、大町ダム周辺で越冬し、3 月頃に繁殖地へ渡去する。
- 主な餌は魚である。

【コラム】

大町ダム周辺を渡ってゆく鳥たち

猛禽類であるハチクマは、秋季に東北地方から東南アジアへと渡っていきます。大町ダム周辺の北アルプスや中央アルプスを通過しており、大町ダムでは平成 22 年度河川水辺の国勢調査において6月にハチクマが確認されています。

そのほかの例として、渡りの時期である晩秋に、中央アルプスの稜線を越えた 30~50 羽のアトリの群れが大町ダム周辺を渡っていく様子が観察されています。



ハチクマ

アトリ

目名	科名	種名	渡り区分	調査年度			
				H5-6	H8-10	H15	H22
スズメ	ツグミ	コマドリ	夏鳥	●			
		コルリ	夏鳥	●		●	
		ルリビタキ	留鳥	●			
		ジョウビタキ	冬鳥	●	●	●	
		トラツグミ	留鳥	●			
		クロツグミ	夏鳥	●			
		アカハラ	夏鳥	●			
	ウグイス	ツグミ	冬鳥	●	●		
		ヤブサメ	夏鳥	●		●	●
		ウグイス	留鳥	●	●	●	●
		メボソムシクイ	留鳥	●			
	ヒタキ	センダイムシクイ	夏鳥	●	●	●	●
		キクイタダキ	留鳥	●	●	●	●
		キビタキ	夏鳥	●	●	●	●
エナガ	オオトリ	夏鳥	●	●	●	●	
	コサメビタキ	夏鳥	●	●	●	●	
	エナガ	留鳥	●	●	●	●	
シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥	●	●	●	●	
	コガラ	留鳥	●	●	●	●	
	ヒガラ	留鳥	●	●	●	●	
	ヤマガラ	留鳥	●	●	●	●	
ゴジュウカラ	シジュウカラ	留鳥	●	●	●	●	
	ゴジュウカラ	留鳥	●	●	●	●	
メジロ	キバシリ	留鳥	●	●	●	●	
	メジロ	留鳥	●	●	●	●	
ホオジロ	ホオジロ	留鳥	●	●	●	●	
	カシラダカ	冬鳥	●				
	アオジ	夏鳥	●				
アトリ	アトリ	冬鳥				●	
	カワラヒワ	留鳥			●		
	マヒワ	冬鳥	●			●	
	ハギマシコ	冬鳥	●	●	●	●	
	ベニマシコ	冬鳥	●	●	●	●	
	ウソ	留鳥	●	●	●	●	
ムクドリ	イカル	留鳥	●	●	●	●	
	ムクドリ	留鳥	●	●	●	●	
カラス	カケス	留鳥	●	●	●	●	
	ホシガラス	留鳥	●	●	●	●	
	ハシボソガラス	留鳥	●	●	●	●	
	ハシブトガラス	留鳥	●	●	●	●	

渡り区分：長野県内での生息状況を勘察した区分

留鳥：季節的な移動はあるものの、1年を通してみられる種。
 夏鳥：繁殖期に東南アジア方面から飛来し、繁殖する種。
 冬鳥：越冬期にシベリア方面から飛来し、越冬する種。

大町ダム一帯に來ない渡り鳥

大町ダム周辺では、例えば、冬の渡り鳥として代表的なコハクチョウは、確認されていません。このように大町ダム周辺に確認されない理由として考えられるのは次のような点です。

①餌場に適さない

龍神湖は、浅場が少なく、コハクチョウなどの水鳥の餌となる水草が生育しにくいことが飛来しない一因と考えられます。

②繁殖場所に適さない

龍神湖は、一般的な湖と比べると湖岸が急傾斜で水位変動が大きいため、湖岸にヨシ等の湿生植物が生育しにくい状況です。そのため、水辺のヨシ原で繁殖する鳥類（ヨシゴイやオオヨシキリなど）は飛来しにくいと考えられます。



コハクチョウ



オオヨシキリ



ヨタカ (ヨタカ科)
 ■低地から山地の草原や灌木が散在する明るい林に生息。
 ■夜行性であり、主な餌はガなどの昆虫類。
 ■産卵期は5~8月で、林縁の地上に直接産卵。



ヤマセミ (カワセミ科)
 ■山間の湖沼・ダム湖や河川の上流域に生息。
 ■崖地の土壁に横穴を掘り繁殖。
 ■主に魚類を採食。



イワツバメ (ツバメ科)
 ■3月頃に渡来し、大町ダム周辺で繁殖、10月頃に越冬地へ渡去する。
 ■繁殖は山地の断崖やダム堤体等の人工構造物に集団で営巣。
 ■主な餌は昆虫類である。